



平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月7日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社オンワードホールディングス  
 コード番号 8016 URL <http://www.onward-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)保元 道宣  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理部門担当 (氏名)吉沢 正明 (TEL) 03(4512)1030  
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第2四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	119,495	△4.8	529	135.2	1,150	△14.6	1,546	△19.5
28年2月期第2四半期	125,495	△5.0	225	△91.3	1,347	△55.1	1,920	12.8

(注) 包括利益 29年2月期第2四半期 △3,525百万円 (—%) 28年2月期第2四半期 △740百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	10.15	10.05
28年2月期第2四半期	12.22	12.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第2四半期	271,787	162,650	59.0
28年2月期	313,454	172,337	54.2

(参考) 自己資本 29年2月期第2四半期 160,219百万円 28年2月期 169,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	—	—	24.00	24.00
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	247,000	△6.3	4,000	5.9	5,000	△9.2	4,300	0.5	28.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年2月期2Q	167,921,669株	28年2月期	167,921,669株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年2月期2Q	16,664,697株	28年2月期	13,767,509株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年2月期2Q	152,338,751株	28年2月期2Q	157,074,269株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成28年3月1日～平成28年8月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に緩やかな改善が見られるものの、個人消費の足踏みが続き、英国のEU離脱問題に起因する世界経済への悪影響が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況で推移しました。

当アパレル・ファッション業界では、個人消費の節約志向は依然として強く、高額品を中心としたインバウンド需要が減速するなど、厳しい経営環境が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループは当連結会計年度を初年度とする中期経営計画の実行に着手し、基幹ブランドの商品価値向上や顧客サービスの拡充により安定的な収益の拡大をはかるとともに、Eコマースなどの高い収益性と成長が見込める事業を強化するなど、事業の選択と集中を推進しました。これらの施策により、「23区」「ICB」「any SiS」が好調に推移するとともに、Eコマース事業が店頭のメンバーズポイントとの統合効果等もあり大幅な増収となりましたが、8月商戦で衣料品売上は苦戦し当社グループ全体として減収となりました。

以上の結果、連結売上高は1,194億95百万円(前年同期比4.8%減)、連結営業利益は5億29百万円(前年同期比135.2%増)、連結経常利益は11億50百万円(前年同期比14.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億46百万円(前年同期比19.5%減)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。

#### ① アパレル関連事業

国内事業は、経営資源の集中を進めたオンワード商事株式会社、チャコット株式会社などが増収増益となりましたが、全体としては減収減益となりました。

海外事業は、欧州地区のオンワードラグジュアリーグループが生産基盤を拡大したことにより、増収増益となりました。北米地区およびアジア地区は事業再編が進み、業績の改善がはかれました。

#### ② その他の事業

リゾート関連事業は堅調に推移し、減収ながら増益となりましたが、前連結会計年度末にサービス関連事業のアクロストラנסポート株式会社の株式を譲渡したこともあり、その他の事業全体としては減収減益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ416億66百万円減少し、2,717億87百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べ319億79百万円減少し、1,091億37百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ96億87百万円減少し、1,626億50百万円となり、自己資本比率は、59.0%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少、法人税の支払等により5億17百万円の支出(前年同期は50億70百万円の支出)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、売場設備への投資および不動産の売却等により185億84百万円の収入(前年同期は20億43百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増減・配当金の支払および自己株式の取得が主なもので251億85百万円の支出(前年同期は41億79百万円の収入)となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて78億18百万円減少し、205億11百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成29年2月期通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間および最近の業績動向や、為替環境、市場動向を勘案し、平成28年4月8日に公表しました業績予想を変更しています。

平成29年2月期通期連結業績予想修正（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	254,000	4,500	5,600	4,500	29.19
今回修正予想 (B)	247,000	4,000	5,000	4,300	28.43
増減額 (B - A)	△7,000	△500	△600	△200	—
増減率 (%)	△2.8	△11.1	△10.7	△4.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年2月期)	263,516	3,778	5,504	4,278	28.27

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)および  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等  
を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しています。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更をおこなっています。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えをおこなっています。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,407	20,578
受取手形及び売掛金	27,818	22,582
商品及び製品	36,162	35,975
仕掛品	1,331	2,343
原材料及び貯蔵品	5,276	4,743
その他	22,308	12,222
貸倒引当金	△835	△622
流動資産合計	121,468	97,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,520	30,587
土地	58,038	49,191
その他(純額)	17,136	15,790
有形固定資産合計	106,695	95,568
無形固定資産		
のれん	15,652	16,350
その他	7,784	7,579
無形固定資産合計	23,436	23,929
投資その他の資産		
投資有価証券	33,922	26,505
退職給付に係る資産	1,417	1,537
繰延税金資産	11,166	12,055
その他	16,023	15,040
貸倒引当金	△675	△673
投資その他の資産合計	61,853	54,464
固定資産合計	191,985	173,963
資産合計	313,454	271,787

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,970	30,947
短期借入金	49,154	39,763
未払法人税等	5,911	1,175
賞与引当金	1,001	1,625
役員賞与引当金	184	91
返品調整引当金	303	249
ポイント引当金	435	444
その他	14,147	11,926
流動負債合計	106,109	86,224
固定負債		
長期借入金	16,026	4,512
退職給付に係る負債	4,180	4,026
役員退職慰労引当金	150	158
その他	14,650	14,215
固定負債合計	35,006	22,912
負債合計	141,116	109,137
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	114,181	111,943
自己株式	△18,040	△20,196
株主資本合計	176,263	171,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,118	△2,121
繰延ヘッジ損益	△302	△411
土地再評価差額金	△10,125	△9,982
為替換算調整勘定	3,777	1,607
退職給付に係る調整累計額	△975	△743
その他の包括利益累計額合計	△6,508	△11,650
新株予約権	843	793
非支配株主持分	1,738	1,637
純資産合計	172,337	162,650
負債純資産合計	313,454	271,787



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	125,495	119,495
売上原価	67,740	63,915
売上総利益	57,755	55,579
販売費及び一般管理費	57,530	55,049
営業利益	225	529
営業外収益		
受取利息	59	23
受取配当金	279	187
受取地代家賃	653	574
持分法による投資利益	107	33
その他	1,131	657
営業外収益合計	2,232	1,475
営業外費用		
支払利息	272	219
賃貸費用	364	202
その他	472	432
営業外費用合計	1,109	854
経常利益	1,347	1,150
特別利益		
固定資産売却益	183	1,949
投資有価証券売却益	4,331	1,281
特別利益合計	4,515	3,230
特別損失		
固定資産処分損	61	41
関係会社株式売却損	98	-
減損損失	213	212
その他	-	136
特別損失合計	373	390
税金等調整前四半期純利益	5,490	3,991
法人税等合計	3,622	2,309
四半期純利益	1,868	1,681
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△51	135
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,920	1,546

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
四半期純利益	1,868	1,681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,011	△2,830
繰延ヘッジ損益	△192	△108
土地再評価差額金	293	143
為替換算調整勘定	△879	△2,157
退職給付に係る調整額	35	232
持分法適用会社に対する持分相当額	145	△485
その他の包括利益合計	△2,609	△5,207
四半期包括利益	△740	△3,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△685	△3,595
非支配株主に係る四半期包括利益	△55	70

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,490	3,991
減価償却費	3,702	3,239
減損損失	213	212
のれん償却額	1,456	1,051
貸倒引当金の増減額(△は減少)	101	△142
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△30	△120
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	39	△128
受取利息及び受取配当金	△338	△210
支払利息	272	219
売上債権の増減額(△は増加)	5,164	4,269
たな卸資産の増減額(△は増加)	△512	△1,120
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,528	△3,178
その他	△11,743	△3,006
小計	△2,712	5,076
利息及び配当金の受取額	421	306
利息の支払額	△301	△186
法人税等の支払額	△2,663	△5,732
法人税等の還付額	186	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,070	△517
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△458	△5
定期預金の払戻による収入	433	1,005
有形固定資産の取得による支出	△5,046	△5,838
有形固定資産の売却による収入	588	13,408
投資有価証券の取得による支出	△4,526	△2,205
投資有価証券の売却による収入	7,765	7,237
長期前払費用の取得による支出	△176	△39
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,758
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	143	6,058
その他	△765	722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,043	18,584
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,481	△17,181
長期借入金の返済による支出	△1,854	△1,515
自己株式の取得による支出	△5	△2,292
配当金の支払額	△3,769	△3,699
その他	△672	△495
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,179	△25,185
現金及び現金同等物に係る換算差額	△321	△700
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,255	△7,818
現金及び現金同等物の期首残高	29,818	28,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,562	20,511

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業				その他の事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(欧州)	(アジア ・北米)	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	96,414	18,215	3,525	118,155	7,339	125,495	—	125,495
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	612	826	257	1,696	3,176	4,872	△4,872	—
計	97,026	19,041	3,783	119,851	10,516	130,367	△4,872	125,495
セグメント利益または損失 (△)	2,625	△1,419	△305	900	388	1,288	△1,063	225

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△1,063百万円には、のれんの償却額△1,456百万円およびセグメント間取引消去2,111百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,718百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間における、重要な発生および変動はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業				その他の事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(欧州)	(アジア ・北米)	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	93,768	19,981	2,473	116,223	3,272	119,495	—	119,495
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	533	647	132	1,313	1,470	2,784	△2,784	—
計	94,302	20,628	2,605	117,536	4,742	122,279	△2,784	119,495
セグメント利益または損失 (△)	2,147	△768	△83	1,295	370	1,666	△1,137	529

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△1,137百万円には、のれんの償却額△1,051百万円およびセグメント間取引消去1,889百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,975百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間における、重要な発生および変動はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。